

プロジェクトを多くの皆さんに知っていただくために
活動支援のお願い

「ロードキルゼロ」キャンペーンの活動資金として、オリジナルグッズ制作やイベントへの参加など、活動にかかる費用の一部、そしてこのキャンペーンで掲げるような行動がだれでも当たり前に行えるように、動物を助ける良心をもった方が自己負担なくともよしくみを作るための資金を皆様からご支援いただきたくホームページを立ち上げました。詳細については下記 Web サイトからご確認ください。



<http://abf.fe-te.com/>

こんな活動
をしています。



※画像はクリックしてください



オリジナルグッズの企画・販売 イベントへの参加 パフレット配布による啓発活動

このプロジェクトはロードキルゼロの啓発活動の他に
以下のような事業を行う事を目標としています。

- ロードキルゼロ基金の設立
働いた動物を保護した方が動物病院で治療の費用を負担しなくて済むようになることを目的とした基金の設立。
- 獣医さんリストの作成
私たちの主旨にご賛同いただける全国各地の獣医さんぜひご一報ください。
今後リスト作成していきます。
- アニマル・ポリス設立基金
動物を保護・治療する日本版「アニマル・ポリス」設立のための基金
人間も動物も対等であり、同じように生きる権利を有している。人間の都合で動物の権利が少しでも侵害されるようなことがあってはならない」という強い愛護精神のもと、犬猫のみならず、小動物や大型の爬虫類まで幅広い生物を対象とした団体を目指す。

ご支援・ご協力をよろしくお願いたします。
ともに始めよう！今、ここから！できることを！

アニマルズベストフレンド事務局 代表 三ツ井俊次
〒389-1226 長野県飯綱町川上 138
TEL: 090-9667-1100 振込先: 八十二銀行 浅川若槻支店 514465

アニマルズ ベストフレンド プロジェクト



ずっと、帰りをまわっている。

山奥に暮らす野生動物にも私たちと同じようにお父さん、お母さんがいたり、子ども達、兄弟、あるいは血はつながらないけど一緒に暮らす仲間がきつといるはずですよ。
朝でかけるとき「いってきます」と「いつてらっしゃい」
帰ってくるたびに「ただいま」と「おかえり」
地球に住む命には、誰かの帰りを待っている家族がいます。
突然、愛する人が帰ってこなかったら、とても悲しく苦しく辛い思いをするはずですよ。
それは、人間も野生動物も一緒。
私たちは、道路でひかれて死んでしまう野生動物を減らす活動を行っています。



人も動物も皆、必死で生きてる！死にたい動物なんていない！
アニマルズベストフレンド

はじめまして。
私は信州で、りんご農家を営んでいる三ツ井と申します。りんご畑での農作業を通じて、大自然の恩恵を肌で感じながら生活をしていると、人間も他の生き物たちもこの地球上に暮らすと同じ尊い命であることを実感します。

しかし、現実社会においては残念ながら人間のエゴにより、他の生き物の命が尊重されていないのでは、と感じる場面にも多く遭遇します。

たとえば車社会の現代、道路で無残な動物の亡骸に遭遇したことはありませんか？その時、皆さんはどんな気持ちでしょうか？「助けてあげたいけれど、動物病院に連れていく時間もお金もないし…」と気になりながらも通り過ぎてしまおう。「うわ！気持ち悪い！」「だれか、片付けてよ！」と感じる人もいるかもしれません。

でも、もしその動物が人間だったら、どうでしょうか？
きっと気付いた人は自分の車を止め救急車を呼び、多くの人がその方の命が助かるようにと祈るでしょう。

**動物の死体は「もの」扱い
清掃センターで他のゴミと一緒に焼却処理**

現在、動物の死体は「もの」扱いです。清掃センターで他のゴミと一緒に焼却処理

されることがほとんどです。
死んでいるとはいえ人間と同じ生き物。ゴミと一緒に燃やされる最期なんてあまりにも悲惨ではないでしょうか？
車社会で便利になった人間がもたらした悲劇なのに…この地球に産まれてきた「いのち」という意味では、同じように傷みや苦痛を感じる存在なのに…

私は、車にひかれた動物と遭遇したときはず車から降り、保護できるものは保護し、残念ながら助からなかった動物はその亡骸をもうようようにしてきました。どこにぶつけられればいいのかわからない悲しい憤りを感じながら…

しかしある時ふと思ったのです。私一人がそのような思いをただ抱えていたところでこの状況は何も変わらない。何か大切なものを忘れかけている人間社会への警鐘にもっと多くの人に気づいてもらわなければいけない、と。

そしてこうも思いました。私一人では社会を変えることはできなくても、同じような考えをもつ人がきつといる。そしてそんな人同士が繋がることのできたらこの社会を少しずつでも変えることができるのではないだろうか。
そのような思いから「アニマルズベストフレンドプロジェクト」を立ち上げることになりました。

「地球上に住む動物の命をできる限り尊重し、思いやりを持って社会を実現する」
アニマルズベストフレンドプロジェクト

「地球上に住む動物の命をできる限り尊重し、思いやりを持って社会を実現する」このプロジェクトの理念を本気で実現しようとするならば、とても壮大なプロジェクトとなることはわかっています。この思いを成し遂げるには莫大なお金や時間がかかることも、やるべきことや課題は多く、短期間で実現するのは難しいかもしれませ

まずは「動物もひかない・優しいドライバー」を目指す
人も動物も同じ命。

今、目の前のできることから始めよう。

まずは、このプロジェクトを多くの方々から知っていただくための第一弾として、車にひかれて亡くなる（ロードキル）動物がゼロになることを目指す「ロードキルゼロ」キャンペーンから始めます。



このキャンペーンを通して皆さんに考えてほしいこと、出来る事ならば少しずつでも行動に移してほしいことは下記の5つです。

- ① 夜間や雨天時でも、動物にも配慮したやさしい運転を心がけよう。
- ② 怪我をした動物をみつければ、保護しよう。
- ③ 動物の亡骸をみつければ、敬意をもって扱おう。
- ④ 怪我をしていたら、できればちかくの動物病院に連れて行く。
- ⑤ 時間がない、金銭にゆとりがない場合でも、せめて、なんども車にひかれることがないように、車道の端に移動させる。

上記の行動への意識を世の中に広めていくためにイベントへの参加やSNS等を通しての啓発活動を行っていきます。

岩手から書家と地酒と漁師直送の海の幸をお届けします！
楽しく呑んで食べて泣いて笑って岩手沿岸と繋がる革の相的岩手沿岸応援企画！

キミトボクヲツナグノハ vol.43 in 長野
松本哲也 いわて三陸・陸前高田編
Talk & LIVE
～ Tsunagaru Iwate to Nagano st.1 ～

2019年 4月12日 (金)

ROSEBERRY CAFE
ロズベリーカフェ

長野市大字鶴賀田町2194-12 TEL : 026-266-0190

開場18:30 / 開宴19:00

料金 3000円 (+ワンドリンク500円別)

申込制 *学割あり

<当日限定特別メニュー>

- ・陸前高田直送「雪解け牡蠣」予約制 (4月8日〆切)
- ・地酒「酔仙」
- ・陸前高田特産品などが当たる！ハズレなしのくじ引き

- *当日キャンセルはご遠慮ください。
やむを得ずキャンセルされる場合はクレジット代金、牡蠣代金を全額支払いお願い致します。
- *車の方は近隣の有料駐車場をご利用ください
- *定員になり次第、受付を終了します

問合せ 090-6146-8497 (倉石)

松本哲也オフィシャルサイト

後援：ながの災害防災ネットワークみらい

ながの災害防災ネットワークみらい



最新情報、PV、SNSなど

<http://matsutetsu.com>



申込フォーム

松本哲也 / 岩手県奥州市生まれ大船渡育ち。2002年ワーナーミュージックジャパンよりメジャーデビュー。これまでにCD14枚を発表。2004年自身のドキュメンタリーが'NNNドキュメント'04で全国放送。またNHKでもドキュメンタリー番組が組まれるなど半生が話題に。著書「空白」(幻冬社)が2013年映画化。亡き母との半生をモデルにした映画「しあわせカモン」(鈴木紗理奈主演)が全国上映。2011年4月11日より東日本大震災の被害にあった岩手沿岸をほぼ毎週末仲間たちと炊き出しキャラバンを行う。現在岩手県在住。岩手県「いわて文化大使」「大船渡ふるさと大使」「いわて三陸復興食堂代表」として全国を飛び回り

【防災講演会&避難所運営シミュレーション】

命の灯火を消さない避難所と 住民主体の災害にも強い地域づくり

～子ども、高齢者を守る避難所とは～



日時: **3月3日(日)**

午前:講演会 10:30~12:00
午後:演習 13:00~16:00

会場:柳原公民館 大学習室
〒381-0017 長野県長野市小島804-5

東日本大震災時、福島県下最大規模の避難所となったピックパレットふくしまの運営に関わった講師(裏面プロフィール)から「命・人権を守る避難所とは」「子ども、高齢者などへの配慮」などについての講演と避難所運営の演習を開催します。

- 対象: 災害支援、地域の防災などに興味のある方
- 定員: 午前の部: 80名、午後の部: 40名(先着順) ※午後の部のみ参加不可
- 資料代: 500円(筆記用具をご準備ください。)
- 託児: 1歳以上の未就学児童10名まで。保育料ひとり500円
- 申込方法: ①申込欄に記入しFAX 026-224-1513 ②申込フォーム(裏面) ③email naganomirai1007@gmail.com ④電話026-227-3707 に申込み
- 申し込み締切: 2月22日(金曜)

【申込記入欄】

ふりがな お名前	年代	連絡先	Email(携帯アドレス不可)	参加希望の部
	代			(午前の部・1日)
	代			(午前の部・1日)
	代			(午前の部・1日)

託児希望の場合、お子さんのお名前とふりがな、年齢(月齢)を明記下さい。10名まで

【主催】 ながの災害・防災ネットワークみらい(ながのみらい)

【共催】 信州大学理学部(JST 未来共創イノベーション活動支援)、NPO法人長野県NPOセンター
社会福祉法人長野市社会福祉協議会、柳原地区住民自治協議会

【後援】 長野市、信濃毎日新聞社、社会福祉法人長野県社会福祉協議会、公財長野県長寿社会
開発センター

講師プロフィール

講師：天野和彦さん

福島大学「うつくしまふくしま未来支援センター」特任教授

1959年福島県会津若松市生まれ。障がい児教育を専門として15年間、障がいを持った子どもたちの教育に携わる。1997年大玉村教育委員会社会教育主事。2002年より福島県教育庁生涯学習文化グループで「県民カレッジ」の立ち上げ準備を行なう。2004年より福島県男女共生センター勤務。2011年3月11日の東日本大震災、東京電力福島第一原発事故に際し、約2500人の被災者を受け入れ、福島県内最大規模といわれた「ビッグパレットふくしま避難所」の県庁運営支援チーム責任者として運営に携わり、避難所内に女性専用ルームを設置した。また避難所の記録「生きている 生きてゆく～ビッグパレットふくしま避難所記～」を上梓。現在も福島の復興に携わりながら、西日本豪雨や熊本地震、胆振東部地震などの被災地に赴き避難所運営などの支援を続ける。



申込方法詳細・会場アクセス

①表面申込欄に記入の上FAX②右記申込フォームより③Email④電話
何れかの方法。申込時は以下の内容をお知らせ下さい。

①参加者のお名前（ふりがな）、②年代、③連絡先、④Emailアドレス
（携帯アドレス不可）、⑤参加希望の時間（午前の部、1日）⑥託児希望の場合、・お子さんのお名前（ふりがな）・年齢（月齢）を明記下さい。
※午後の部のみの申込は出来ません。



②申込フォーム

柳原公民館へのアクセス

- ・長野電鉄柳原駅下車
徒歩約5分
- ・長電バス 平林・柳原線
（市民病院経由）停留所
「柳原駅」徒歩約5分
- ・国道18号「柳原」交差点を北に入り、長野電鉄の踏み切りを渡って
一つ目の信号を左



会場アクセス
Googlemap

○フォーム、メールで申し込み後3日を過ぎても返信がない場合、お手数ですがお電話でお問い合わせ下さい。
○個人情報は連絡（返信）およびながのみらいからのご連絡以外には使用いたしません。

主催・お問い合わせ・お申し込み

- 主催 **ながの災害・防災ネットワークみらい**（愛称：ながのみらい）
HP <https://naganimirai.jimdo.com/>
Email naganimirai1007@gmail.com
- お問い合わせ・お申し込み
長野市ボランティアセンター
TEL 026-227-3707 FAX 026-224-1513



ながのみらいHP

東日本大震災の

被災地はまだ復興していません。

※2019年4月から10年計画の「まちづくり総合計画」が始まることです。

(陸前高田市)

◎オテガミで、「忘れてないこと」伝え続けましょう。

★オテガミの出し方

380-0833 長野権堂郵便局「陸前高田のみな様」宛(局留め)に、適宜の方法でお送り下さい。私達が陸前高田市民にお届けします。

◎古本で、津波で流失した図書館の充実に協力しましょう。

★「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」により、寄付金に替えて支援します。

*対象：ISBNコード入りに限ります。(裏表紙など)

*方法

① 毎月第4木曜日に古本回収所を開設しています。お持ちください。

場所：権堂市民交流センター 時間：10～12時

② ご自分で対応する場合。荷造りして下記によりご対応頂ければ集荷料無料。

インターネットで「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」から、要領と申込み用紙をアウトプットし、申込用紙に記入の上、電話で集荷を依頼。

集荷依頼先(電話番号) 0120-826-295 (バリューブックス社)

お願い⇒申込用紙は、下記部分に加筆(書き加えて)してご使用下さい。(オテガミプロジェクトの実績にするため)

① 「ご署名欄」上部に「オテガミプロジェクト(企業ID:OTE)」と記入してご署名下さい。

② 団体ID欄(右下)に「44」とご記入ください。

被災地オテガミプロジェクト推進チーム☎090-2455-5677(久保田)

《 交 流 会 》 開 催

『大震災から8年 ～現地に学びそしてつながる交流会』

～陸前高田市・大槌町の皆様と語ろう～

—被災地 オテガミプロジェクト—

あの震災から8年 日本列島に頻りに襲い掛かる多くの自然災害
防災・減災とともに、今私たちに必要な心のつながり
このつながりを深化すべく私たちプロジェクトはオテガミ、現地訪問を実施しています
今回はこれらの課題に正面から関わっている方々の話をお聞きし、
どうつながりを構築するか共に考える場として交流会を企画しました
皆様のご参加をお待ちしています

日時： 平成 31年 3月 9日 (土) 午後1時から

会場： 長野市勤労者女性会館 「しなのき」

★ パネリスト ・佐々木 美代子 氏

(陸前高田市在住、震災時女性団体リーダー)

・佐藤 慧 氏

(フォトジャーナリスト 岩手県出身 今回の津波で母親を亡くす)

・菅野 安納 氏

(陸前高田市出身震災時中学1年生、自宅全壊 漫画家志望)

・大槌町関係の方々

★ ファシリテーター 内山 二郎 氏

(長野県長寿社会開発センター理事長)

★ アンサンブル ヴィ・ヴォーチェ 東日本大震災後、大槌町の合唱団と

交流している長野市の合唱団

★ 協賛金 500円

★ 陸前高田市民とのネット回線でのライブ交流 (Google Hangouts)

★ 現地海産物 即売会開設予定

共催 ながの福ゾウくんプロジェクト、(財)長野県長寿社会開発センター賛助会

後援 長野市教育委員会、信濃毎日新聞、NHK 長野放送局